About Us

The Urban Community Research Center for Asia is an internationl, interdiscplinary center for research of urban, civil lives and landscapes. It is created to identify and analyze the social, economic and physical problems of urban communities, and to promote ideas for better solutions. It is under auspices of Kwansei Gakuin University's special research project.

Mission & objectives

21世紀のグローバルな市民社会の成長への貢献。民主的自立的市民とコミュニティーの歩みを支え合う仕組みの構築。
Community is our future: Help community think, help community act.
UCRCA is a Community Learning Center: a new form of Think Tank for citizens of urban Asia.
UCRCA provides and developes an information center on the web, where citizens can learn to act for their communities through the experiences and knowledge of others.

Organization**

UCRCA
- Center Director
  - Kwansei Committee
  - Visiting researchers
  - Supporting staff
  - Ueno Seminar/almni
  - Adjunct Scholars/researchers

**
Kwansei Committee
- Center Director: Prof., Dr. Makiko Ueno
- Duputy: Prof., Dr. Ritsuko Watanabe; Prof. Hirotsugu Koike; Assoc. Prof. Mizue Ohe
- Visiting Researchers: Dr. Katsuhide Nagayama; Dr. Sachiko Wakasugi; Mr. Tadahiko Nomura; Ms. Toshiko Sugawara
- Supporting Staff
- Ueno Laboratory/Almni

Five Project Areas		Agenda	Research Reports	Lectures/Seminars
I. MONGOLIA Project	2006年以降、上野研究室において実施してきたモンゴル研修と調査の蓄積を踏まえて、コミュニティー形成に働きかける具体的実践研究を展開する。	Urban and housing problems/planning	Ueno Labo Report Series 1. 2006: Turism Survey 2. 2007: School Survey 3. 2008: Ger Area Survey 4. 2009: Students Living and Mapping	
II. Community Studies & Planning/Housing Database	コミュニティーの、内発的、自立的計画形成 のためのツールとして、ソフトおよびハード・データを融合させたGIS使用のコミュニティー形成を継続的に促すデータベースを作る。この過程では、日本を含め多くの事例研究を集める。	Vulnerable population research **Community Center: Idea and process** Family, women, children, aged, disabled handicapped, minorities Physical and Spacial design & planning Building data base for community driven NPOs	1. Community Database* 2. Community Facilities' Planning 3. Community Housing Database	
III. Community Leadership Program for Women	コミュニティーのリーダーシップの存在は不可欠である。そとから出来ることのひとつは、家族とコミュニティー、福祉と環境、近隣地区生活圏の総合的整備を学ぶ機会を整えた、女性のためのリーダーシップ研修プログラムがあるだろう。プログラムの開発と実践を目指す。	Developing workshops for women leaders community capacity building empowering family & women		
IV. NPOs, Think Tanks & Democratic Institutions in Civil Societies	統治の民主化と市民社会の形成強化は密接な関係を持つ。多様なNPOと独立的政策研究を推進する、独立的政策研究機関、ことに議会予算局と独立的シンクタンクの興隆と繁栄が必要である。シンクタンク運動の継承。see2)	1. Building Asian Urban Think Tank Net 2. Collaboration Research w/ Think Tanks & Civil Societies Program		
V. Policy Studies & Evaluation	民主的市民社会の統治には、継続的持続的に政府を変革する機構が必要である。これは究極は市民による政策形成と評価の能力を意味する。市民のための政策評価の学習の機会を用意する。see1)	Policy research, analysis, and evaluation		

Other current and future Activities

Campaign: One Percent Set-aside Fund for Policy Evaluation, Japan
Urbanization and China Studies

* Soft & hard data collection
demographic data, land use data
natural & environmental data
economic, housing, employment,
public health, medical, vital
statistics, education, public safety,
transportation access, social
& human services, arts & culture
social fabric, government structure

1) 研究センターの目的ミッション

Community is our future: help community think, help community act.

21世紀のアジアは、環境劣化と同時に人口増と急激な都市化のもたらす極めて複雑多岐な問題に直面する。グローバリゼーションと市場経済化とその成長発展は、それぞれの国内にとどまらず、人口の都市集中をもたらし、巨大都市を生み出すと考えられる。この都市化過程は、日本における第2次大戦後の発展過程と類似しながら、しかしそれ以上に多様な複雑な様相を呈している。特にことに途上国において顕著な都市化は、貧困、雇用、所得、教育、環境、居住、健康衛生、医療等において、相互に密接に絡み合った問題をもたらしている。この都市問題へのアプローチと解決は、物理的ハードな問題と社会経済的ソフトな問題とを分離しマクロ的に扱う、既往の「計画的」思考の枠組みから、ハードとソフトの融合する、ミクロからの新たな思考と行動を必要とする。

Community is the key to solve problems.

グローバルで複雑な問題にもかかわらず、多くの問題の解決の糸口は、最も基本となる、ひとりひとりの人間の、ひとつひとつの地域の、コミュニティーにある。コミュニティーの自立、活性、努力と強化が、あらゆる国において、市民社会において、不可欠であり、そこにこそ解決の源がある。20世紀の国家による過ちを正すことができるのも、またコミュニティーである。

この研究センターは、アジアの諸都市の、特に貧困層と弱者の自立と強化を根底に据えて、コミュニティーが考え、行動するための知恵と情報の基盤を整え、コミュニティーとともに学びあう場を提供しようとするものである。ことに人々の生きる原点となる居住生活空間を軸として、都市化過程をデータとして記録し、同時に、コミュニティー住民が自らのコミュニティーの開発自立のための計画と政策形成に利用できる、コミュニティー・データベースを構築する。アクション・リサーチ（行動促進型政策研究）を行い、それをインターネット等を用いて提供し、アジアのコミュニティーの発展、強化に貢献しようとするものである。

1)政策研究・評価の市民社会における役割

コミュニティーに社会開発の原点を置くことの最も重要な意味は、コミュニティーは社会的な弱者が生存し、生きる権利を全うする場でなければならないからである。コミュニティーは弱者を無視し、または排除するものであってはならない。コミュニティーは独自性を持つが、それは常にオープンで、インクルーシブな、多様な価値観を包含し、脆弱な家族と個人を強化するものでなければならない。コミュニティー福祉の新たな理念を模索するために、研究と計画と成果をどう図るか、評価の枠組みを検討する。高齢者、障害者の視点からの、政策及び計画論の開発。
これに合わせて、コミュニティー・基盤組織、コミュニティー基盤企業体のプロファイル・シートの作成を試みる。このシートをもとにした調査と情報のウェブサイトの作成。

2)NPOおよびThink tanksのデモクラシーと市民社会における役割

基本的なは、多くの都市問題の解決は、コミュニティーによる、自立と開発に多くをゆだねる。しかしこれはミクロの対応だけがすべてであるということではない。そこには国家レベルマクロの対応も不可欠であり、統治の民主化と市民社会の形成強化の過程との密接な関係を持つものである。このダイナミックな過程を動かすには、独立的政策研究を推進する、独立的政策研究機関、ことに議会予算局と独立的シンクタンクの興隆と繁栄が必要である。そこにおいては、デモクラシーにおける政府の役割と責任と義務を政策研究を通して議論し、検証する努力が組織化、制度化される。NPO組織とアジアのシンクタンク・プロフィール・データの構築とネットワークを可能性を検討する。